

※ 会議で回答済の意見等については記載していません。

基本構想

↓平成27年5月29日現在の資料1「基本構想（修正案）」の該当ページです。

■第1章 まちの未来像			
番号	ページ	意見等	対応状況
1	17	「光」と「輝く」は同じ意味なので、この短い文章の中で同じ意味の言葉を二つ入れるのはどうか。	「光」と「輝く」は、類似する印象を伴う言葉ですが、異なる意味合いを持たせていることから、現案のとおりとさせていただきます。
2	17	「光」は、うるおいをもたらす川や海と未来へ向かう希望の光だと思う。川と海で水面のキラキラをイメージしているかもしれないが、「豊かな」川や海というのがある。「光」で水の川と海というのは、無理やりな感じがする。	「光」と川や海の関係性を表現するため、「生命を育み」という記述を加えました。
3	17	市民憲章とのかかわり合いを併せて検討する必要があるのではないか。	市民憲章の内容に反しない未来像であると捉え、現案のとおりとさせていただきます。
4	17	「とよかわ」は漢字にしたほうがよい。「豊かな川」の豊川というのが全国にわかってもらいたい。「輝く」というのをひらがなにし、「豊川」を漢字にすると、光も緑も人も輝いている豊川というように受取ってもらえるのではないか。	本市の知名度向上は重要と捉えていますが、漢字で表記した場合に「とよがわ」と読まれる可能性もあることから、現案のとおりとさせていただきます。

■第3章 まちづくりの基本方針			
番号	ページ	意見等	対応状況
5	20	「まちづくりのイメージ」について、最終的に冊子を印刷する際には、わかりやすい色にしたほうが、「行くぞ」というイメージになる。	ご意見を踏まえ、冊子の印刷時に工夫させていただきます。

基本計画

↓平成27年5月29日現在の資料2「基本計画（案）」の該当ページです。

■第1章 人口と財政			
番号	ページ	意見等	対応状況
6	3～6	人口減少して一番困るピークは2040年代である。「10年後はこうなるから、この10年間でこれをやろう」ではなく、「20年後もっと困るのだから」とデータを示したうえで、これからの10年間に何をやるのかを議論しなければいけない。人口については、わかる範囲で先のデータの推計値を出すと、今後、何をしていかなければいけないかが見えてくる。	ご意見を踏まえ、総人口の目標とあわせ、平成52年（2040年）までの推計値をグラフに記載することとしました。
7	56	人口ピラミッドは、1年刻みのほうが男女差などの現状がよくわかる。100歳以上は削っているが、今後、特に女性で100歳以上が増えてくる、平成37年には100歳以上が増えて問題点が出ると推定される。5歳刻みではなくて、1歳刻みで、かつ100歳以上も載せてほしい。	ご意見のとおり、詳細なデータによる分析は重要ですが、ここでは少子高齢化の進行をおおまかに把握するための資料とする考えから、現案のとおりとさせていただきます。

8	3 ～ 6	「人口の見通し」のグラフについて、第5次では一つのグラフで示されている。同じ内容で2ページを使うよりも、何を言いたいのかをきちんと説明したほうがいい。一つのものでもよくわかる。このグラフで何を言いたいかということを示したほうがよい。	「総人口の目標」については、人口減少の抑制を目標とすることを明確にするため独立したグラフとしており、また、人口ピラミッドについては、異なる年のグラフを横に並べた方が、違いを分かりやすく捉えられると考え、現案のとおりとさせていただきます。
9	8	世帯数はどんどん増えるのか。	推計方法により異なりますが、基本計画（案）における推計方法による2040年までの推計値では、増加し続ける予測となっています。

■第2章 まちの構造			
番号	ページ	意見等	対応状況
10	11	拠点への集約について、どれくらい市民の方が理解されているのか。	ご意見を踏まえ、市民への丁寧な説明に努めさせていただきます。
11	11	地域拠点について、「地域の特性に応じた都市機能を集積し、各地区のくらしの中心に位置づける」と書いてある。もう少し、「具体的にどういう住まい方ができるのか」「集積される都市機能とは何なのか」を言わないと、市民の方が誤解される恐れがあるのでは。	ご意見を踏まえ、「公共施設や商業などの」という記述を加えました。
12	11	新たな産業拠点エリアは今、検討されていて、今後、出てきますということだった。第5次でも「新たな産業拠点エリア」というものがあつた。位置付けが変わる場合は説明が必要である。	ご意見を踏まえ、根拠を明確にしながらエリアを設定しました。
13	11	「都市核」というイメージが沸かない。市役所を中心とする行政の中心で、福祉・医療・商業が一部あり、公共施設が集積するというイメージでいうと、豊川地区はどうなるのか。中心市街地といっても、諏訪、金屋、豊川という中心市街地では、広すぎて、諏訪地区の商業と豊川地区の商業とは違うということで、中心市街地そのものがぼけている。都市核と一緒にしたことで余計わからなくなった。	諏訪、金屋、豊川地区は、様々な都市機能が既に存在し、今後もそれを生かしたまちづくりが重要と捉えています。よって現案どおりとさせていただきますが、「地域拠点」との対比に配慮し、「都市核」という表現を「中心拠点」に改めました。
14	11	「まちの構造」について、事務局の説明が右往左往したということは、このページを見てわからないということである。右側の立体図を一生懸命説明していたが、「何をまちの構造で言いたいのか」が分からなかった。「果たして拠点という名称でいいのか」とか検討されたい。「光・緑・人 かがやく豊川」にするならば、これを見て、かがやきが感じられるような構成にしてほしい。立体になると、全然、何が書いているのかわからなくなる。順番に読んでいけるなというような構成にしてほしい。	ご意見を踏まえ、この章の説明に4ページを割いて構成を再考し、説明文を図の前に記載することと改めました。なお、立体図については、拠点と軸の連携イメージを強調したいと考え、表現を改め、引き続き掲載させていただきました。

15	11	「まえがき」の「第2章 まちのあゆみ」に「このように多くの合併を経験した本市は、企業や商業施設、行政機関が集まる諏訪地区を中心に、東に豊川地区、西に国府・御油地区と音羽地区、南に小坂井地区と御津地区、北に一宮地区といった市街地がそれぞれに形成されており」とある。この説明なら、どこが中心であって、東西南北のそれぞれに地域拠点があるとわかりやすい。図になった時には豊川と諏訪がくっついた、わかりにくい形になって、豊川市がどこを拠点としようとしているのか見えづらくなっているの、拠点なのか、観光のゾーンなのか、ということをはっきりさせたらどうか。	ご意見を踏まえ、「中心拠点」の説明に、具体的な地区を明示するよう改めました。「中心拠点」のエリアについては、中心市街地として一体的に捉える考えから、現案のとおりとさせていただきます。
16	11	拠点への集約をしないと、今後のまちが見えてこない。高齢者にやさしい都市の在り方、住まいの在り方は重要である。60歳以上の交通事故が非常に多い面も考えると、「拠点への集約」「交通ネットワークの充実」が一番重要になってくる。何らかの形で次の住みよい生活へ導く指針が欲しい。	ご意見を踏まえ、新たな施策として「コンパクトシティの推進」を加えさせていただきました。
17	11	山を切り開いて造成した住宅地が何箇所かあるが、そういうところは高齢化し、空き家がたくさん出ていたり、一人暮らしの方が増えている状況である。そういうところをモデル地区にして維持させる、あるいは、平地に移っていただくかというのは、大きな課題である。総合計画や各種計画の中でも考えなければならない課題である。	ご意見のとおり、地域によって様々な課題があるものと捉えています。空家等対策については、新たに加えてさせていただきました。
18	11	「まちの構造図」があまりにも漫画っぽい。リアルに描けば、わかりやすくなる。リアルな図に変えて、10年後の道路網など、出来上がるのもここにしておいたほうが見やすい。	ご意見のとおり、分かりやすさは重要と考えていますが、総合計画の「まちの構造図」は、主要要素に絞り込んで表現し、まちづくりの方向性を示すことに主眼をおいているため、現案のとおりとさせていただきます。
19	11	「集約と連携のイメージ」図は、本当に「イメージだけで書いているのか」、それとも、「こういう結び方の将来構想を言っているのか」という違いがわからない。現状では道路がない部分にも拠点間の線が描いてある。「それを今後つくっていく」と誤解されると思うので、実際と一致するように直したほうがいい。イメージが1人歩きをして誤解をされる可能性がある。	ご意見を踏まえ、イメージの誤解を招かないよう、この図で強調しようとする「拠点」と「軸」に絞り込んだ図に改めました。
20	11	わかりやすいまちの構造のイメージとするため、2ページで済ますのではなく、10年後の姿がイメージできるように検討してほしい。	ご意見を踏まえ、4ページというスペースの中で構成を再考し、「まちの構造図」と「集約と連携のイメージ」図を分けて説明するよう改めました。

■第3章 市民意識の状況			
番号	ページ	意見等	対応状況
21	16	「産業・雇用」の中の商業振興について、日用品などの買い物の満足度が71.6%と高いが、私が暮らしているような集落はこれから買い物に困る。高齢化率もどんどん上がる。この辺りについても、今後の計画の中で、対策を考えていただけるといい。	高齢化への対応として、買い物の利便性は重要であるため、今後の課題として捉えています。
22	13～16	「満足度と重要度の点数化」と「満足度と重要度一覧」の整合性が取れるようにされたほうがいい。加点の方法と、パーセンテージが合わない感じがするので、説明しやすいように書かないといけない。	ご意見を踏まえ、満足度と重要度の基礎データである「満足度と重要度一覧」を前半に記載し、「満足度と重要度の点数化」について後半に記載するよう改めました。

23	13 ～ 16	「満足度と重要度の点数化」と「満足度と重要度一覧」が違うものであることを言いたいのであれば、それを説明したほうがいい。	ご意見を踏まえ、満足度と重要度の基礎データである「満足度と重要度一覧」を前半に記載し、「満足度と重要度の点数化」について後半に記載するよう改めました。
24	13 ～ 16	「満足度と重要度の点数化」よりも「満足度と重要度一覧」のほうがわかりやすい。14ページは、よく見ないと、どこがどうなっているのかわからない。	ご意見を踏まえ、満足度と重要度の基礎データである「満足度と重要度一覧」を前半に記載し、「満足度と重要度の点数化」について後半に記載するよう改めました。
25	14	「満足度と重要度の点数化」について、白黒だとわかりにくい。大きさもあるか。	ご意見を踏まえ、カラーで表記し、大きく記載するよう改めました。

■第4章 行政分野別計画

番号	ハ・ニ	意見等	対応状況
〔全体〕			
26	—	全体的に将来目標は素晴らしいが、今やっていることを書いているだけ。定年退職後の高齢者の生きがいを持つために、たとえば、今、農業をやっている方が経営して会社をつくって高齢者を雇用したり、障害者雇用をしたり。そうやって、生きがいのある生活を高齢者、障害者の方にも過ごしていただくような仕組みを市がつくっていくことが望まれる。高齢者問題、障害者の問題、農業の問題などがいっぱいある中で、様々な取り組みを組み合わせ、人や緑を輝かせるという観点で、新しいことに取り組んでほしい。	ご意見のとおり、様々な分野の取組みを連携させることは重要と考えます。今後の参考とさせていただきます。
27	—	現状分析に第5次で目標設定したものは、計画と実施の反省をしていただき、「なぜ増えたか」「なぜ、減ったのか」という分析をされたい。第6次では、「将来どうします」というふうにつなげていかないとけないと思うので検討されたい。	ご意見のとおり、目標指標を活用した分析や評価が重要と捉え、「第6章 計画の進行管理」を新たに設け、実施計画の策定において評価と改善を繰り返すことを明記するよう改めました。

■政策1【安全・安心】

番号	ハ・ニ	意見等	対応状況
〔①交通安全対策の強化〕			
28	22	人口減少の率と、交通事故年間発生件数の減少率は全く一緒である。単なる人口減少の比率のパーセンテージから事故もこういうふうに減るのただというだけでは、将来の目標にならない。10年かけていろいろな事業をやっていくにもかかわらず、「現状のままの減少のもとで事故も減るだろう」という簡単な目標だけでは、一所懸命やっていることが無駄になる気がする。	ご意見を踏まえ、交通事故年間発生件数の目標値を改めました。
29	22	5次総合計画の時に、目標値が1,230件だった、実績は1,449件で減少傾向にはない。第5次の目標値はどこかで消えていったのか。	ご意見を踏まえ、交通事故年間発生件数の目標値を改めました。
30	22	交通事故年間発生件数が、目標値として10件ずつ減らすというのは「どういうことなのかな」と思われなにか。	ご意見を踏まえ、交通事故年間発生件数の目標値を改めました。
31	21 22	交通安全に関し、歩道の整備、自転車道の整備などの取組みがどこかに出てくるといい。	ご意見を踏まえ、政策3「建設・整備」の施策②「コンパクトシティの推進」で、自転車道の整備や歩道のネットワーク化を事業例として追記しました。

〔②防犯対策の強化〕			
32	23 24	防犯対策について、国が行うものばかりでなく、「警察とのネットワーク強化」があるが、こうしたところで治安を守る取組みがあるといい。	ご意見のとり、治安を守る取組みは重要です。引き続き、警察との連携を強化していきます。

■政策2【健康・福祉】			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔②地域医療体制の充実〕			
33	41	患者紹介率をいう時は、必ず逆紹介率を目標値に入れて、セットで考えてほしい。その場合は、「地域医療支援病院の指定項目の数値をクリアする」という目標づくりで。豊橋市民病院は、紹介率70%を越えて、逆紹介率は90%近く、80何%という状況であり、そこをめざしてほしい。	ご意見を踏まえ、現況に患者の逆紹介率を追記しました。

■政策5【産業・雇用】			
番号	ページ	意見等	対応状況
〔④中心市街地の活性化〕			
34	81	中心市街地活性化について、目標設定で苦戦している内容である。中心市街地の捉え方は、個人差がある中で、あえて設定して、このエリアで目標を達成するんだという意味合いがあるのか。これを目標に入れることが本当にいいのかどうかということの目的の検討をお願いしたい。 それでも入れるのであれば、政策5の「産業・雇用」ではなく、政策3の「建設・整備」だと思う。第5次を見ると、かなり商業マターの話だったので政策5に入っていたと思うが、これまでの意見で「中心市街地は商業ではなくて、住む場所の総体としてのレベルアップでしよう」という意見がいっぱい出た結果、指標がまちを評価する指標に変わっている。担当窓口が、都市計画課なので、政策3のほうが違和感がない。	中心市街地に焦点を当てた取組みは、今後においても重要と考えています。 実現手段の④「まちなか居住の促進」の取組みについて、ご意見を踏まえ、政策3「建設・整備」で新たに設けた施策②「コンパクトシティの推進」に移しました。